

1 名古屋市の文化施策体系について

（1）名古屋市直執行の主な事業（全 12 事業 一般財源 78,718 千円 国庫 106,000 千円）

| 事業                         | 概要                                           | 財源           |
|----------------------------|----------------------------------------------|--------------|
| やっとかめ文化祭                   | 歴史的建造物や文化資産を活用し、名古屋独自の歴史や文化に根差した事業を実施        | 国庫補助<br>一般財源 |
| アッセンブリッジ・ナゴヤ               | 文化芸術に触れる機会やまちの賑わい創出を図るため、音楽とアートのフェスティバルを開催   | 国庫補助<br>一般財源 |
| ユネスコ・デザイン都市なごやの推進          | 創造都市ネットワークを活用した他都市との交流事業や若手の人材育成などを実施        | 一般財源         |
| なごや子どものための巡回劇場             | 文化芸術の普及向上のため、演劇・伝統芸能等の公演を子どもたちに身近な会場で開催      | 一般財源         |
| 新たな文化芸術の推進に向けた事業の試行及び体制の検討 | 新たな文化芸術推進体制の構築に向け、調査検討を進めるとともに、助成による支援等を試行実施 | 国庫補助<br>一般財源 |

主な課題

- ①文化予算は年々減少傾向にあり、より効果的な予算執行が求められている
- ②文化芸術に対する市民の関心を高め、創造活動を支援する仕組みが必要
- ③文化施策の質的向上を図るため、客観的評価や PDCA サイクルの導入が必要

（2）名古屋市文化振興事業団の主な事業（全 9 事業 文化振興基金 47,610 千円）

| 事業       | 概要                                   | 財源         |
|----------|--------------------------------------|------------|
| 総合舞台芸術公演 | 事業団発足以来、毎年ミュージカル、オペレッタなどを制作、上演       | 文化振興<br>基金 |
| 名古屋市民芸術祭 | 総合的な芸術の祭典として、市民文芸祭、いけばな芸術展、市民美術展等を実施 | 文化振興<br>基金 |
| 子どもアートピア | 子ども向けの公演・ワークショップを展開し、鑑賞者の裾野の拡大を図る    | 文化振興<br>基金 |

※別途、人件費等で一般財源 174,832 千円

主な課題

- ④他分野や地域とのつながりを深め、新たな価値を創出する取組みが求められている
- ⑤多様化する市民ニーズに適応した文化芸術に関する情報提供力の強化
- ⑥実施事業の意義や成果を示すうえで、第三者機関による客観的な評価が求められる

（3）文化施設の運営（一般財源 1,947,719 千円）

| 概要                                                                                                                                                             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・市民会館や芸術創造センター、青少年文化センターなど特色ある大中規模ホールのほか、市内 15 区に文化小劇場が配置するなど 26 の文化施設を運営している。<br>・指定管理者制度の導入以後、貸館の利用率は年々上昇し全施設で 7 割を超過しており、その設置目的を実現するため施設ごとに自主事業が企画・実施されている。 |

主な課題

- ⑦指定管理者の事業評価は所管課が実施しているが、行政職員では文化芸術の専門性という点で評価・助言のスキルに限界があり、市内全施設で実施される数百件に上る自主事業の底上げや他分野との連携促進などが大きな課題となっている。

2 名古屋版アーツカウンシルの目指す方向性・機能について

（1）課題を踏まえた対応方針

- ④他分野や地域とのつながりを深め、新たな価値を創出する取組みが求められている

➡ 社会課題解決のため、文化芸術を他分野に活用する取組みを支援する。

- ②文化芸術に対する市民の関心を高め、創造活動を支援する仕組みが必要

➡ 芸術家と市民をつなぎ分野横断的にコーディネートできる人材の育成

➡ 名古屋の実情を分かった上で芸術家を支援する中間支援組織の構築

- ⑤多様化する市民ニーズに適応した文化芸術に関する情報提供力の強化

➡ 地域の課題調査、開かれた情報の蓄積を通じた身近なアーカイブ機能

- ③⑥⑦専門性を有する第三者機関としての客観的評価・助言、PDCA サイクルの導入

➡ 行政と一定の距離を置いた第三者的な仕組みの導入

（2）想定される機能・役割

助成

文化芸術を他分野に活用する活動、創造的な活動への助成

【想定される役割】

- ・採択団体へのサポート・モニタリング、助成事業の評価
- ・各種情報提供、スキーム設計、公平性・透明性を確保した審査実施 など

支援  
育成

専門人材による伴走型支援、様々な主体と連携できる人材の育成

【想定される役割】

- ・事業実施への助言・協働、各種情報提供
- ・ニーズの吸い上げ・とりまとめ、PDCA サイクルによる改善 など

提言  
評価

行政と一定の距離を置いた専門的見地からの評価・提言機能

【想定される役割】

- ・市の文化政策にかかる助言・協働、市・文化財団事業への助言・評価
- ・指定管理者制度の運用にかかる協働・助言・評価 など

3 名古屋版アーツカウンシルの組織のあり方

独立性（ガバナンス）と専門性（高度人材の確保・提言機能）の両立を目指す

➡ 実行力と組織力を担保し得る実行委員会形式での運営形態・要件を検討

別紙案